

<空の安全・安心を！ 整理解雇 4 要件を守れ！>

京都のつばさ

街頭宣伝用ニュース 第 9 号

2012. 5. 18

日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議・発行

京都市中京区壬生仙念町 30-2 ラボール京都 5F 京都総評気付 075-801-2308 (第 11 回定例宣伝)



稲盛和夫名誉会長は不当解雇撤回を！
JAL 原告団も控訴して闘う、京セラ創業者は憲法・労組法を守れ



「私たちは一昨年大晦日に日本航空に解雇されたパイロットと客室乗務員 148 名です。不当な解雇は撤回せよ！と裁判で闘っています。ご支援よろしくお願ひします。」

We are 148 crew members, pilots and flight attendants of Japan Airlines, who were dismissed on New Year's Eve two years ago. We brought this case to court in order to reverse this unfair dismissal.

(We were dismissed due to age discrimination and sick-leave record in the past.)

Your kind understanding and support would be greatly appreciated. Thank you.

우리들은 지난해 12 월 31 일, 일본항공사에서 해고당한 파일럿과 객실승무원 148 명입니다. 부당한 해고에 대한 철회를 요청하는 재판을 걸고 투쟁하고 있습니다. 여러분께, 많은 지원을 부탁드립니다.

JAL 原告団も二条城前広場で 8000 人に訴え・・5.1 メーデー大会

キャビンアテンダントの原告団・小森啓子さんも歌声の輪に入り、京都の歌声の仲間の「あの空へ帰ろう」の大合唱からメーデー大会は開会された。

5 月 1 日、京都・二条城前広場で働くものの祭典・第 83 回全京都統一メーデー大会が開かれた。JAL 不当解雇撤回原告団の小森啓子さんが昨年引き続き参加され、会場を埋め尽くす 8000 人の労働者に、京セラ創業者でもある稲盛和夫 JAL 名誉会長の行った不当解雇を撤回せよ、原告団は不当判決に抗議し控訴して闘い続けると高らかに訴えた。

メーデーはアメリカ・シカゴの労働者が 8 時間労働制を求めて 5 月 1 日に決起したのが始まりで、労働者の祭典として戦前から日本でも京都でも開かれ、今年は第 83 回となった。「過労死」や「サービス残業」など外国語に翻訳できない、日本の労働者の働きすぎを見直し、派遣や非正規・パート・有期雇用など不安定で低賃金を押し付けられている日本の労働者の現状を打開する、労働者の奮起の場として、労働組合年間最大行事となっている。

そのメーデー大会に JAL 原告団が昨年引き続き招かれたことは京都の労働者・労働組合がいかに京セラ創業者である稲盛和夫 JAL 名誉会長の憲法・労働組合法違反の不当な解雇を許さないかという決意のあらわれでもある。JAL 不当解雇撤回原告団も本年 3 月末の東京地裁の不当判決に満身の怒りをあらわし、控訴して闘うことを決めた。

この日メーデー大会で小森さんと並んで挨拶した旧社会保険庁から解雇された全厚生闘争団、京都農協・中川泰宏会長の不当解雇との闘いやすべての労働争議の勝利をめざし、“一人の首切りも許さない”を合言葉にすべての京都の労働者は連帯して闘おう。そして“あの空へ帰ろう！”

